

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和9年度9回) 昭和9年12月5日(水)午後5時開會。

出席者 野田鶴雄君、水谷叔彦君、香村小録君、俵國一君、河村 驍君、鹽田泰介君、三島德七君、蒔田宗次君。

協議事項 1、東京商工會議所より照會の件。2、本會々誌寄贈申込者に關する件(否決)。3、故評議員今岡純一郎君の補缺に關する件(次期改選迄延期)。4、第5次服部賞受領候補推薦に關する件(未決)。5、内規俵博士資金取扱規則により俵賞金受領候補者選定方法に關する件。6、日本鐵鋼協會第20回通常總會並に第14回講演大會開催に關する件(日程概定第1日4月2日(火)午前 講演會。午後 通常總會 第2日4月3日(水)祭 講演會。夜 晚餐會。第3日4月4日(木)見學 研究部會以上決定)。7、入退會者及會員異動に關する件(自11月8日至12月5日)。

(イ) 入會申込者數 正會員1名、准會員3名、計4名。

(ロ) 退會申込者 3名、次の如し。

正會員 佐藤英夫、西澤公雄。准會員 原科恭一(以上承認)。

報告事項 1、昭和9年11月中收支決算報告。2、第13回講演並に見學大會決算報告。3、工學會評議員會報告。4、眞野博士日本工學會理事長就任承諾の通知ありたり。

第13回大會決算

收 入	支 出
昭和製鋼所寄附 1,443.31	東京本部支出 747.87
本溪湖煤鐵公司寄附 500.00	内 譯 円
本部負擔金 856.17	印刷物費 278.49
會員出費(東京納入) 517.00	通信交通費 133.88
同上(滿洲納入) 428.30	紀念品代 282.00
講演大要廣告掲載料 20.00	徽章代 16.75
	人件費及雜費 56.45
	小 計 747.87

滿洲支出	2,616.91
内 譯 円	
大連旅順經費	1,390.47
準備費	582.81
沿線見學費	643.63
小 計	2,616.91
合 計	3,364.78

合 計

豫算決算對照表

豫算金額	決算合計金
豫 算 2,000.00	第12回大會費 1,225.57
超 過 81.74	第13回 " 856.17
計 2,081.74	2,581.74

備考 本豫算額は經常費の一項目なれば超過金の補填方法は別に講ぜざるものとする。

以上を審議了し午後7時散會す。

編輯委員會 (昭和9年度第9回) 昭和9年11月27日(火)午後5時開會。

出席者 吉川理事、委員田中清治君、山田良之助君、蒔田宗次君、三島德七君、鹽澤正一君。

協議事項 1、鐵と鋼第21年第1號上掲論文決定の件。2、鐵と鋼第20年第12號上掲抄録原稿選定の件。3、第14回講演大會並に第11回研究部會開催に關する件。

以上を議了し午後8時散會せり。

鐵と鋼第21年第1號上掲決定論文

鑄鐵爐原料としての平爐滓と銑鐵の燐分との關係

深 堀 佐 市	
木炭銑の性質に就て	宮 下 格 之 助
電氣爐銑中のマンガンの還元機構	向 山 幹 夫
燃燒法に依る金屬窒化物中の窒素の定量	前 田 六 郎

新 入 會 者 氏 名

居 所 又 は 宛 名 先	勤 務 先 又 は 職 業	會 員 別	入 會 者 氏 名	紹 介 者
本所區東兩國一ノ二	鐵鋼業	正	岡田菊次郎商店君	行 方 敵 三 郎 村 松 橋 太 郎
世田谷區北澤二ノ一三二 金澤資子方	東大、工、治、學生	准	鈴 木 隆君	三 島 德 七
富山市外山室村 不二越鋼材工業會社	工學士	"	大 沼 太 吉君	橋 浦 彦 三
佐世保市日字里免二一三八	佐世保海軍工廠造機部	"	長 谷 川 嘉 雄君	村 松 橋 太 郎